

新型コロナウイルス感染拡大下での千葉県立美術館の活動について

新型コロナウイルス感染拡大による特殊な2年間において、千葉県立美術館はどのような活動を行い、それをどう自己評価しているのか。

1 令和2年度末からの開館状況

- (1) 令和2年度の開館日数
196日間（当初予定：301日間） → 展覧会の年間計画等、事業計画を見直した。
- (2) 臨時休館期間
令和2年3月3日（火）～5月25日（月）、令和3年1月13日（水）～3月22日（月）

2 感染拡大下での取り組み

- (1) 特設ページ「おうちでアートを楽しもう」の開設
 - ア Ch_AIR（Chiba Prefectural Museum of Art：Artist in Residence）の動画
 - イ 北詰コレクション「メタルアートの世界Ⅳ－金工作品とモチーフ」ワークシート
 - ウ デジタルミュージアム
 - エ 解説書「パリの浅井忠」
 - オ 資料紹介「富取風堂～色彩の追求～ラウル・デュフィの模写から」
 - カ 県民の日スペシャルコンテンツ「チーバくんのモビールをつくろう」



「おうちでアートを楽しもう」

- (2) YouTube チャンネルの開設
 - ア 開設日 令和2年11月17日
 - イ 登録者数 81人（令和4年2月21日時点）
 - ウ 再生回数 3,871回（令和4年2月21日時点）



YouTube チャンネル

- (3) QRコードの活用

- ア 作品解説
- イ アンケート

3 コロナにより中止した事業等

- (1) 展覧会
 - ア 特別展「日本文化の華 大相撲展」
 - イ 「100%ORANGE オレンジ・ジュース」（令和2年度→令和3年度に延期）
- (2) 県内美術団体による展覧会（84団体予定→69団体が中止）
- (3) 実技講座（6回→0回）、ワークショップ（7回→1回）など
- (4) 団体受入（学校：令和元年度37校→令和2年度0校）、情報資料室の閉室など

4 感染拡大下での取り組みの自己評価

令和2年度のデジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況は前年度に比べ、3倍近く増えた。しかしながら、いずれも単発の企画として完結してしまっており、継続的な展開を図ることができなかった。今後はより体系的に整理しながら、オンラインでの取り組みを発展させていきたい。